

平成16年度第1回児童福祉専門分科会 議事録

日 時	平成17年2月9日(水) 午前10時00分～午後0時15分	
場 所	宇都宮市議会棟第一委員会室	
出席者	分科会長	伊達悦子委員
	分科会長職務代理者	瀬尾充男委員
	委員	阿久津均委員, 安納ミヤ子委員, 風間嘉信委員, 加藤佳子委員, 金子耀誉委員, 鎌倉三郎委員, 山本光子委員
	市民参加者	藪仁委員
欠席者	金子準二委員, 宝住紀恵委員, 今井恭男委員, 安達秀子委員, 浅香勉委員, 坪田淑子委員	
事務局	児童福祉課長, 児童福祉課長補佐, 保育担当副主幹, 企画係長, 児童福祉係長, 保育係長, 鈴木(信)総括主査, 大橋主任, 大山主任	
発言者	内 容	
分科会長	<p>開 会</p> <p>(課長挨拶・新委員紹介)</p> <p>(会長挨拶)</p> <p>この場で意見交換をしていただき,最終的には提言書の形でまとめて社会福祉審議会から宇都宮市に提出することになる。</p> <p>2 報告事項「これまでの検討経過について」事務局の説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p>	
分科会長	<p>3 協議事項(1)「計画の骨子案について」「ア課題の整理と今後の方向性(別紙1)」について事務局の説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p>	
分科会長	<p>行動計画策定指針の7に「要保護」と言う表現があるが,児童福祉法制定時から範囲が広がっているので,今は「要養護」という表現が一般的ではないか。</p>	
事務局	<p>ここには国から示された指針をそのまま載せたのでそうなっているが,計画の中では「要保護」という表現は使わない。</p>	
分科会長	<p>現状と課題の中で,子どもの人権について触れているが,今後条例制定やオンブズパーソン制度といった方向に進むのか。</p>	

事務局	本市では、平成15年度に人権施策推進指針を策定し、全ての分野でその視点を盛り込んで施策を展開している。行動計画においてもその視点を盛り込んでおり、今後の推移を見守りながら条例制定が必要かどうか検討をしていきたい。
分科会長	兵庫県の川西市が非常に進んでいるので、今後、参考に検討していただきたい。
加藤委員	「こども療育センター」と「とちぎりハビリテーションセンター」との関係はどうか。
事務局	「こども療育センター」は既存の「肢体不自由児通園施設」「知的障害児通園施設」「幼児ことばの相談室」を統合し拡充するとともに、障害の気付きの段階から児童期を通した継続性・一貫性のある関わりを持つことを目的に整備する。「とちぎりハビリテーションセンター」の機能との住み分けについては今後検討していきたい。
加藤委員	障害児が、施設の中だけではなく、早く地域に帰って地域の人と一緒に生活していけるよう、色々な人がいて当たり前なのだという一般への働き掛けにも力を入れて欲しい。
事務局	「こども療育センター」については、西部地区保育園と合築により整備をすることで準備を進めているので、ノーマライゼーションを推進できるものと考えている。
阿久津委員	施策の推進目標に「個性」という、取り違えられ易い表現があるが、どうして入れたのか。 児童育成計画の「施策推進の基本方向」の順番が入れ替わっているが、深い意味はあるのか。
事務局	順番については、児童育成計画の柱を行動計画の7つの柱に対応する形で並び替えただけである。 「個性」という言葉については、子どもが人権を持ち、権利の主体として心豊かに育っていく過程において、一人一人に違いが出てくると言う意味で使っている。
阿久津委員	子どもの啓蒙も目的としているのであれば、子ども用の冊子を別に作り、平易な言葉で言い換える必要があるのではないか。
事務局	今後検討していく。
分科会長	3協議事項(1)「計画の骨子案について」「イ 施策体系と重点事業(別紙2)」について事務局の説明をお願いします。

	(事務局説明)
風間委員	<p>計画倒れにならないようお願いしたい。育成計画の時には、目標以上に状況が進んでしまい、計画を超えてしまっていたので、その点が心配である。</p> <p>子育てサロンの目標値は9箇所だけで大丈夫なのか。子育て相談に関して保育園が地域の中核になっていかなければならないので、全保育園でそのような取組ができるように考えてもらいたい。</p>
分科会長	<p>子育てサロンの話が出たが、小・中学校にカウンセラーを配置しようという国の動きが出てきているが、幼稚園に関してはどうなのか。</p>
金子(耀)委員	<p>今のところ幼稚園に関してそのような動きはない。</p> <p>幼稚園でも預かり保育や休日保育に取り組んでいるので、幼稚園についても目標値を入れてもらいたい。また、「食育の推進」に関して「保育所における栽培体験など食に関する事業」とあるが、これは幼稚園でも実施していることなので、幼稚園についても触れてもらいたい。</p> <p>長時間延長保育を9時まで実施するとなっているが、遅くまで保育園で預かることが子どもにとって幸せなのか、よく考えてもらいたい。</p>
分科会長	<p>就業形態が多様化しており、一概に長時間保育が悪いとも言えないが、今後はそれが子どもの成長にとってどうなのか、ガイダンスが必要になってくると思われる。</p>
風間委員	<p>無認可は劣悪な施設もあると聞くが、夜間止むを得ず利用している保護者もいるので、認可保育園で時間を延長して子どもを守ってやらなければならない。</p>
分科会長	<p>無認可といっても市が立ち入り調査を実施しているので、昔のようなことはないと思われる。保護者の働く時間帯に合わせたり、保育時間の総量を念頭に置いたりして受託し、発達の道筋を母親と共有することが必要になると思う。</p>
阿久津委員	<p>相談体制を充実し、保護者が気軽に入れる場所を作ることが必要である。</p> <p>子ども、保護者、行政それぞれの立場があり、例外的なケースも多いので、行動計画については5年ではなく、毎年検証し、見直しをしていく必要があると思う。</p>
事務局	<p>市内の全認可保育園62箇所で子育て相談を実施できるような体制をとっている。</p>
分科会長	<p>以前より子育てに関する問題が複雑化してきているので、相談体制の充実は急務である。</p>

事務局	<p>幼稚園については、教育委員会で、人づくりビジョンの部門別計画として幼児教育振興計画の策定を進めている段階なので、今回の前期行動計画には数値目標を盛り込めなかった。後期行動計画には組みこめるよう検討したい。幼児教育振興計画の策定については、今年の夏以降になる見込みである。</p> <p>子育てサロンの目標数値が9箇所がいいのかという指摘があったが、子育て相談については子育てサロンだけでなく、認可保育園や子どもの家でも実施している。複数の事業を充実させ多面的に実施していきたいと考えている。</p>
金子(耀)委員	<p>3～5歳児は約12,000人、そのうち幼稚園児は7,000～8,000人もいるのに、部署が異なるからという理由で無視してはならないのではないか。</p>
鎌倉委員	<p>窓口の一本化が望ましいことだが、行政としては難しいところもある。しかし、幼稚園についても何らかの形で触れるべきである。</p>
事務局	<p>幼稚園についても、素案の中で「預かり保育推進事業」「子育てランド事業」「幼児教育相談」等について体系の中に組み込んでいるが、数値目標を掲げるまでには至らなかった。</p>
分科会長	<p>数値目標が載せられないのなら、教育委員会と協議し、別の載せ方を検討してみてもどうか。</p>
事務局	<p>検討する。</p>
金子(耀)委員	<p>窓口の一本化は是非推進してもらいたい。</p>
分科会長	<p>別紙2のひとり親家庭の自立促進のところでは、就業支援については触れなくてよいのか。</p>
事務局	<p>「ひとり親家庭の自立のための支援事業」の一つとして、来年度母子家庭等の自立促進計画を策定して行く中で、具体的な手法を検討していきたい。</p>
藪委員	<p>「中高生と乳幼児のふれあい交流事業」で、現状参加人数0人、目標値4,000人となっているが、具体的な計画はどうなっているのか。</p>
事務局	<p>現在、中・高含めて学校の授業体系の中に保育園との交流事業が組み込まれているが、ここに挙げたのは、放課後や夏休み・冬休み等、授業以外の場で生徒に自主的に参加してもらうための事業である。</p>

風間委員	<p>「食に関する健康教育」の数値目標で、朝食について触れているが、昼食・夕食も同様に大切である。しかし子どもにできることではないので親を教育し徹底させなければならない。</p> <p>また、栽培した作物を食べさせることも良いことだと思うので、保育園でもそのような活動が認められるようにしてもらいたい。</p>
金子(耀) 委員	<p>幼稚園でも栽培等、食育に取り組んでいるので、保育園だけでなく幼稚園にも触れてもらいたい。</p>
分科会長	<p>食育も含め、幼稚園関係については教育委員会との調整を事務局にお願いしたい。</p>
山本委員	<p>学校も農園活動を実施している。</p> <p>また、子育て支援に関する各事業の実施にあたっては、より多くの人に参加しやすいよう可能な限り活動場所を増やして欲しい。</p>
分科会長	<p>3 協議事項 (2) 「計画書について」(別紙 3) 事務局の説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p>
風間委員	<p>父親の子育てへの参加意識の高揚と父子家庭への支援については力を入れてもらいたい。</p>
分科会長	<p>3 協議事項 (3) 「施策の推進について」(別紙 4) 事務局の説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p>
阿久津委員	<p>子どもをとりまく環境は変わるので、状況に合わせて一年単位で計画を変更できるような体制を取れるとよい。</p>
事務局	<p>施策事業については状況に応じて実施していく。</p>
分科会長	<p>これまでの意見をまとめ、事務局と協議して提言書を作成するということがよいのか。</p>
各委員	<p>(了承)</p>
風間委員	<p>議事録を作成して欲しい。</p>
事務局	<p>作成する。</p>

分科会長	4 その他 「今後のスケジュールについて」事務局の説明をお願いします。 (事務局説明) 閉 会
------	---